

山行報告書

日時	2019年9月14日(土)、15日(日)		天候	曇りのち晴れ
山名	烏帽子岳、五勇山、国見岳、後平家山、夫婦山、南平家山			
CL	katsu	参加者	フジ、yuka*、A井、N尾、ササ	
(コース)	登山口→烏帽子岳→五勇山→国見岳(テント泊)→後平家山→夫婦山→南平家山→林道→登山口			
(コメント)	<p>会山行・テント泊・多人数・縦走 久しぶりの山行でした。 新しいメンバーとの山はとても新鮮で普段持って行かない食材を持って脊梁に向かいました。脊梁は秘境の山、狭い道を長い時間を掛けて行きました。初日は曇りで景色は見れませんでした。国見岳山頂の少し下った所にテントを張り頑張って持ってきた冷えたビールは美味しかったです。リーダーにはゆっくりの速度で歩いてもらいましたがとてもきつかったです、他のメンバーの疲れも知らずずっとしゃべりながらの歩行には驚かされました。また新メンバー2人の山行経験の豊富さにも驚かされました。2日目の尾根歩きはとても気持ち良かったです、途中から地獄の山行になるとは・・・本来のコースが解らず解りやすい尾根をルートファインディングしながら下山、落石の危険もあり難しい川超えあり最後の車道までの100mの急登はとてもきつく車道を見れた時のほっと感はこのメンバーでこれに本当に良かったと感じました。これからの山行が楽しみです。(フジ)</p> <p>久しぶりのテント泊。 九州脊梁は山深いと聞いていたので一度は行ってみたい場所でした。 まさかこんなに山深いとは・・・ リーダーとメンバーに恵まれ、レベルの高い山行を経験することが出来ました！ 1日目は怪しいお天気でレインを着たり脱いだりしながら国見岳へ。 テン場は小雨だったので二人用のテントに集合して酒盛り、皆の食材をコラボさせてアレンジレシピでお腹いっぱい。 2日目早朝目覚めた頃には月が出ていて、綺麗な朝日と雲海を見ることが出来ました！ ここからが脊梁山行本番です。 倒木や藪こぎ、急斜面に渡渉・・・ ないわ～って思える程の悪路の連続で、普通の登山道へ出た時の感激が凄い(笑) 重たい荷物で皆でよく頑張りました。 1泊2日とは思えない程大満足の九州脊梁山行をお腹いっぱい楽しみました！ yuka*</p> <p>この度は脊梁山行に参加させていただきありがとうございました。 アゼリアに入会し、はじめてのテント泊山行でしたが中川リーダーをはじめ、皆様のおかげでとても楽しい2日間となりました。 今回、下山で使う予定の破線ルートが見つからないというハプニングもありましたが、中川リーダーのルートファインディングスやロープワークなどで危険を回避、無事全員をゴールに導いてくれたことに感謝しています、また大変勉強になりました。 久々のテント装備での山行ということもありましたが、体力不足を痛感させられました。 今後の課題として改善できるよう努めたいと思います。 テント場で語った雪山遠征やグルメ山行などぜひ実現させたいですね。 今後とも宜しくお願いします。 A井</p>			

久しぶりのテント泊山行でしたが、天気にも恵まれて、九州の奥山を楽しむことができました。

リーダーの中川さんをはじめ、ご同行いただいた皆さんに感謝です。

ただし、未知のコースには危険がいっぱいですね。

最後の下りの途中でクロスズメバチに左手の手の甲を二箇所刺されました。以前にもスズメバチに刺されていたので、アナフィラキシー反応が出て、下山の夜から手が腫れあがり、木曜までかゆみが残っていました。もちろん、病院を受診しています。

また、川岸に出たときに川岸まで安全に降りられたので、良かったのですが、険しい山域では、最後が崖になっていることが多く、降りられないことが多かったため、今回はとてもラッキーでした。

GPSが正確に渡渉ポイントに誘導してくれました。登山ツールの進化に感心しました。

N尾

烏帽子岳から五勇山まで見事なシャクナゲ道、国見岳山頂には立派な祠が祀られており、360°の展望、なかなか雰囲気の良い山頂でした。テント泊初心者の私は、達人たちの手慣れた行動に感心しながら食料(食材)等参考になりました。夕食作りをしながら、おしゃべり、笑い声…フジさんの厚切りベーコンが美味しくてバクバク食べてしまいごめんなさい。楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。翌朝、山頂から日の出と九州脊梁の山々を堪能した後、出発。

今日のコースはあまり歩かれていないルートでテープを見失わないように進みました。途中から背丈以上の笹藪のヤブコギ、足場の悪い急斜面を落石を起さないよう慎重に木に掴まりながら下り、ようやく丸太のかかった沢に下りました。水量の多い沢をロープを張って無事徒渉、今度は急斜面をよじ登り登山口に到着しました。楽しさと緊張感で中身の濃い充実した山行でした。

リーダー、メンバーの皆さん、ありがとうございました(ササ)

初めてのリーダーとしての登山です。

ほとんどソロでの行動が多く、今回は私含め6名という人数、身が引き締まります。終わっての感想です。

まず7月に下見をしたのは烏帽子岳から国見岳まで、その先は未知の世界でした。国見岳までの時間は前回ソロで歩いた時間に合わせましたが、その先はコンパス(登山届けサービス、で地図上を辿るとおおよその時間がでています。)任せになっていました。後でYAMAPを見たらちゃんと時間が書いてありましたね。1日目はほぼ予定どおりに国見岳へ到着してテント設営しました。

7時に出発予定でしたが、テントが乾かないので1時間ほど遅れて出発、後平家山までは素晴らしい天気と山の雰囲気が忘れられません。

南平家山から南東へ800Mほどの分岐から下山する予定でしたが、どんなに探しても登山道が見つからず、一度間違っと思った尾根道の所に変わっているのだと想像し、引き返し下山する事にしました。ここにはテープもしっかり付いていて整備もされていて新しいルートが作られていたと考えたのです。ところが300mほど下りた所で二股に分かれていました。左にはテープがありましたが元の登山道へつながりそうな右にはテープは見当たらなかったのです。それで左のテープのあるルートを選びました。結局地図上の登山道へは行かず全く登山道が無い尾根の方へ向かいました。植林された杉林が下草を刈り取られ間伐されている場所に入り、全くテープも見失ってしまいました。とにかく尾根ずたいに下りればなんとかなるかと考え、落石に注意しロープを使いなんとか沢に下りることができました。沢は何箇所か渡れそうな箇所もありましたが岩伝いに渡れる箇所にロープを張り、全員渡渉することができました。そこからまた急斜面を100メートルほど登り返しました。

林道に出た時は本当に嬉しかった。メンバーの皆さん本当にありがとうございました。

	<p>良かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全く行ったことが無いルートだったので時間的には余裕をとっていた。 ・ロープを携行していた。 <p>悪かった点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登山道が塞がっていたので少し焦りが出た。 ・テープを目印にしてしまったこと(植林管理のテープの可能性大) ・地形を読む想像力不足(元登山道の方が傾斜が緩やかだった、次の尾根の分かれ目でも左の尾根が傾斜が緩やかだった。) ・後平家山を過ぎた林道へ抜けるエスケープルートを全員に確認をとるべきだった。まだまだ勉強不足を痛感させられました。(katsu) 				
費用概算	<table> <tr> <td>(交通費/人)</td> <td>¥2734</td> </tr> <tr> <td>(その他/人)</td> <td>それぞれの食事代など</td> </tr> </table>	(交通費/人)	¥2734	(その他/人)	それぞれの食事代など
(交通費/人)	¥2734				
(その他/人)	それぞれの食事代など				